

中央手術部

1. スタッフ（2024年4月1日現在）

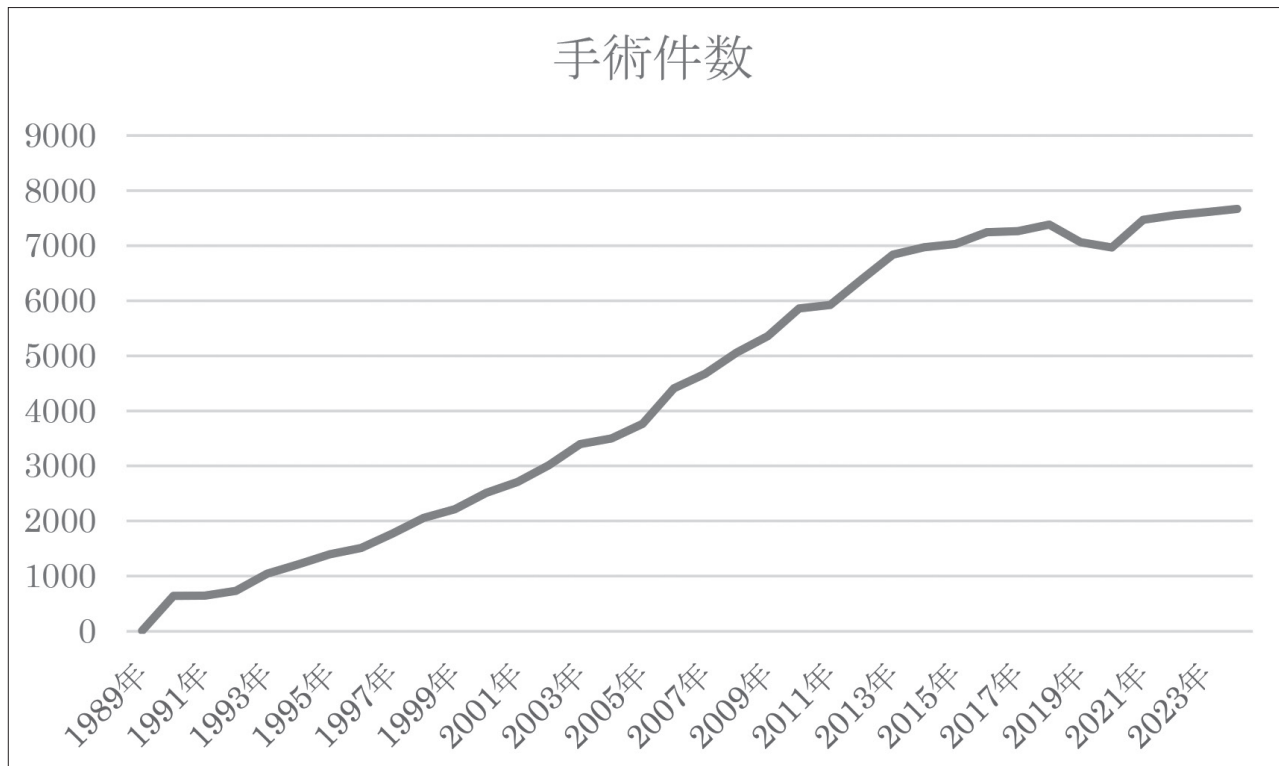
部 長（教授）	遠藤 俊輔
看 護 師	63名
看護師長	大塚 明希
主任看護師	海谷 晃代
	野田 幸代
臨床工学技士	5名
技 師 長	草浦 理恵
薬 剤 師	1名

2. 実績・クリニカルインディケーター

1) 当センター開設以来の、年間手術件数の推移をグラフ1に示す

- ・総手術件数 7,670件
(2023年と比較して53件の増加)
- ・麻酔科管理症例 5,865件
- ・全身麻酔症例 5,521件

グラフ1：当センター開設以降 年度別 手術件数の推移



2) 中央手術室 運営の実際

2024年の実質稼働手術室数は17室（中央手術部13、日帰りセンター手術室3、産科病棟1）であった。

課題と対策について述べる。

- 限られたリソースの中で手術室の機能を最大限に発揮し、効率の良い手術室運営を行うことが求められている。予定手術件数・緊急手術件数はともに増加傾向であり、平日の手術室運営は、しばしば困窮を極めている。対策として、土曜日や連休中に予定手術を行う試みを開始した。平日（特に準夜帯）の混雑緩和と手術件数の増加には、ある程度貢献している

と思われる、今後も継続する予定である。

- ロボット手術は、泌尿器科のみならず一般消化器外科、婦人科、心臓血管外科にも拡大された。このため新たに一台の装置を購入するとともに、旧式の機器（メーカーのサポート終了）を更新し、2台での運用を開始した（手術室11/12に配置）。2台のロボットを効率的に運用し、最小限の維持費で最大限の収益を得るために、効率的な手術室運営を模索している。
- 働き方改革の要望を満たした勤務体制の確立と、増加する一方の手術件数に対応するために、各科の手

術枠の利用状況を考慮して、枠の見直しを進めると同時に、手術患者の入退室、部屋の準備、麻酔の導入/覚醒の迅速化などにより、手術室の有効利用が

できるよう、継続して模索している。なお、曜日ごとの手術室の各科への割り振りを表1に記した。

表1：週間手術枠割当表（2025年5月）

曜 日	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
時間帯	am	pm	am	pm	am	pm	am	pm	am	pm
第1列	外 科	外 科	外 科	外 科	外 科	外科/形成	外 科	外 科	外 科	外 科
第2列	外 科	外 科	泌尿器科	泌尿器科	外 科	外 科	外 科	外 科	外 科	外 科
第3列	外 科	外 科	泌尿器科	泌尿器科	外 科	外 科	呼外	呼外	外 科	外 科
第4列	呼外/ 外科	耳鼻科/ 外科	整形外科/ 心外/脳外	整形外科/ 心外/脳外	耳鼻科	耳鼻科	耳鼻科	耳鼻科	呼外	呼外
第5列	耳鼻科	耳鼻科	脳外科	脳外科	耳鼻科	耳鼻科/ 形成	脳外科	脳外科	整形外科	整形外科
第6列	呼外	呼外	循環器	循環器/ 皮膚科	口腔外科	口腔外科	婦人科	婦人科	整形/ 小児外科	耳鼻科
第7列	婦人科	婦人科	婦人科	婦人科	形成	形成/皮膚	呼外	婦人科	泌尿器	泌尿器
第8列	心外/ 泌尿器	心外/循内	小児外科	小児外科/ 整形	心臓外科/ 形成	心臓外科/ 皮膚	血液/腎内	泌尿器科	心臓外科/ 循内	心臓外科/ 泌尿器
第9列	心臓外科	心臓外科	心臓外科	心臓外科	心臓外科	心臓外科	心臓外科	心臓外科	心臓外科	心臓外科
第10列	心臓外科	心臓外科	泌尿器/ 形成	整形/形成	心臓外科	心外/形成	心臓外科	心臓外科	心臓外科	心臓外科
第11列	産科				口腔外科		産科			整形外科
第12列	緊急	緊急	緊急	緊急	緊急	緊急	緊急	緊急	緊急	緊急
第13列		循内/	脳血管 内治療	脳血管 内治療				脳血管 内治療		脳血管 診断
外来1	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	局所麻酔	眼科
外来2	局所麻酔	局所麻酔							局所麻酔	泌尿器
外来3										

3. 2025年 診療目標

1) 基本方針

1. 良質な手術医療の提供
熟練性・連携性・企画性及び行動力優れたチームとしての手術医療を展開する。
2. 安全性の高い手術医療の展開
高度かつ細心の危機管理能力に裏付けられた安全性の高い手術医療を確保する。
3. 手術医療需要増大に対する積極的な対応
効率性向上によって質・量の向上を両立させた手術医療を提供する。

2) 具体的活動

1. 手術利用率を向上し、各診療科の需要に対応する。
 - 1) 手術実績から、手術枠の見直しを行う。
 - 2) スケジューリングに関する現状調査を実施し、課題を明らかにする。
2. 手術室の稼働状況から、稼働率を上げるための業務委譲による効果的な人員配置を行う。
3. 手術医療安全対策を励行し、安全な手術医療を提供する。

- 1) 確実なサインイン・タイムアウト・サインアウトを実施
- 2) 周術期感染予防策の実施
- 3) 臨床工学部による機器管理の実施
- 4) 災害対策訓練の実施
- 5) 学会・研究会・研修などへの積極的参加、手術医療の関わる専門的知識・技術の向上